

組合沿革

福栄組合の歴史

1964年	昭和39年	稲作・農作のかたわらヒナ100羽入雛
1965年	昭和40年	ヒナ150羽入雛
1968年	昭和43年	農事組合法人福栄組合(生産)を組織する 佐賀県神埼郡神埼町に直営農場を建設
1969年	昭和44年	鶏舎36棟860坪を建設(ヒナ8,000羽入雛)
1970年	昭和45年	から揚げ直売店開設(事業所併設1ヶ所)
1971年	昭和46年	北野町に第2農場を建設(鶏舎10棟/540坪) ヒナ6,000羽入雛 北野町に新設の処理場を建設し販売を開始する
1972年	昭和47年	全農鳥市(現:全農チキンフーズ)と契約(東京出荷開始)
1980年	昭和55年	新工場完成(現本社工場)
1987年	昭和62年	福岡県が開発した「はかた地どり」生誕記念発表会(福岡市:12月8日)
1988年	昭和63年	「はかた地どり」が福岡県産推奨品に認定される(委託農家8戸:年間出荷羽数9万羽)
1992年	平成4年	食鳥肉検査制度が施行され処理場の改築を行う
2002年	平成14年	地鶏肉特定JAS認定を受ける(12月10日)※九州で第1号
2004年	平成16年	生産履歴情報開示システム(トレーサビリティ)を店頭(県内3ヶ所)に設置(4月23日)
2006年	平成18年	「はかた地どり」推進協議会を設立し販売強化に取り組む 「はかた地どり」の生産が25万羽/年を超える
2007年	平成19年	福栄組合創立40周年ならびに「はかた地どり」生誕20周年記念祝賀会を開催
2010年	平成22年	新はかた地どり販売開始
2012年	平成24年	地域団体商標取得 第5504323号 年間出荷羽数41万羽
2013年	平成25年	株式会社きちり様と業務提携により、はかた地どり専門料理店「福栄組合」を 銀座・池袋・渋谷・道頓堀にオープン
2016年	平成28年	金剛農場が「農場HACCP推進農場」の指定を受ける 八女市星野村に星野農場開設 東京日本橋に東京出張所開設
2017年	平成29年	金剛農場が「農場HACCP認証農場」の認証を受ける はかた地どり専門料理店「福栄組合」博多川端店オープン
2018年	平成30年	小川福岡県知事を招いて「はかた地どり 30周年記念式典」を開催
2019年	令和元年	「はかた地どり(むね肉)」が、生鮮食肉としては初めて「機能性表示食品」として 消費者庁に受理される(9月17日) HACCP(JFS-B規格)の認証を受ける(11月30日)
2022年	令和4年	地理的表示保護制度(GI)に登録 第117号(3月31日)